

沖縄県庁津梁委員会準備に向けて

(村田俊一)

沖縄の平和構築活動と国際社会の関連性を考察する上で、若者の役割と動員、政策・政治参加を含めた地域固有の課題と可能性に焦点を当てる必要があります。本稿では、沖縄の若者が SDGs 達成と平和構築にどのように寄与できるかを明らかにし、その具体的な戦略を提案します。

1. 沖縄の歴史的背景と若者の役割

若者と平和構築への参加(目標 16: 平和、公正、そして強い制度)

沖縄の若者は、歴史的に平和運動の担い手として重要な役割を果たしてきました。沖縄戦の記憶や米軍基地問題に対する意識は、次世代への教育や行動に強く影響を与えています。若者を中心とした動きは、地域の持続可能な発展と平和構築に欠かせない要素となっています。

- **若者による平和運動の事例**

沖縄県内外の高校生・大学生が主導する「高校生平和大使」プログラムや、米軍基地問題に関する意見交換会などが挙げられます。これらの活動は、国内外での意識向上や政策提言につながっています。

- **Youth Mobilization の意義**

若者が主導する社会運動は、単に意識を高めるだけでなく、持続可能な地域社会づくりの実行力として機能しています。例えば、地元の環境保護活動(サンゴ礁保全プロジェクトなど)や平和に関する芸術・文化活動を通じて、SDGs の具体的な目標に貢献しています。

強化提案: 若者を政策決定に巻き込む仕組みづくり

- **地域レベルでの若者参画**

沖縄県庁や自治体において、若者の視点を政策に反映する「若者政策会議」を設置します。この会議は、地元住民とともに基地問題や観光政策などの議論を行い、将来世代の声を政策に反映させる場として機能します。

- **教育を通じた平和リーダーの育成**

沖縄の教育機関で SDGs や平和構築を専門的に学ぶプログラムを整備し、次世代のリーダーを育成します。例えば、沖縄の高校生が国連で発表する「Youth Peace Ambassador」プロジェクトを推進することで、若者が国際社会での存在感を高めます。

2. 沖縄と国際社会の関連性

若者を中心とした国際連携(目標 17: パートナリーシップで目標を達成しよう)

沖縄は、若者を平和構築と国際協力の中心に据えた取り組みを進めることで、地域課題を国際的文脈に位置づける可能性を秘めています。

1. 若者の国際交流プログラムの強化

- **「SDGs 国際ユースフォーラム in 沖縄」開催**

沖縄をアジア太平洋地域の若者が集う平和と SDGs の国際会議の拠点とします。若者による平和構築や地域課題の解決に向けた政策提言を、国際社会に発信する場とする。

- **具体例:** 沖縄県の高校生が主導する「次世代アジア平和対話」を設立し、アジア諸国の若者が平和や安全保障をテーマに議論できる機会を提供します。

2. 基地問題をテーマにした若者の国際的な声の発信

- **地域住民と若者の連携によるアピール活動**

辺野古基地問題や環境破壊の影響を国連や国際 NGO を通じて発信します。若者の視点を交えたデジタルキャンペーン(SNS や動画プラットフォーム)を展開し、グローバルな関心を喚起します。

3. 平和教育と琉球文化の国際的な発信

- **琉球文化を平和構築の象徴として活用**

伝統音楽や舞踊、工芸を通じて沖縄の独自性を国際社会にアピールします。例えば、若手アーティストが海外で琉球文化を披露する機会を提供し、「平和文化」のコンセプトを広めます。

3. 今後の提案と方向性

若者と政策・政治参加の推進

1. 若者の政策形成への直接参加(目標 16)
 - 「若者政策アドバイザーボード」の設立
沖縄県庁内に若者主体の政策提言機関を設置し、地元課題に関する意見を定期的に収集します。特に、観光政策や基地問題に関する意見を政策立案プロセスに反映させる仕組みを整備します。
 - 若者議会の開催
沖縄県内の高校生・大学生が県議会形式で討議し、実際の政策に結びつけるイベントを定期開催します。これにより、若者が政治に積極的に関わる契機を提供します。
2. 若者リーダーシップの国際的育成
 - 「沖縄 SDGs リーダー育成プログラム」創設
沖縄の若者が SDGs や平和構築に関する知識を深め、国際会議や政策提言に参加できるよう、語学やリーダーシップ研修を提供します。
 - 国際インターンシップの拡大
若者が国連や国際 NGO でインターンシップを経験するプログラムを拡大し、沖縄の若者が世界で活躍する足がかりを提供します。

若者のテクノロジー活用を支援

1. デジタルキャンペーンによる意識啓発(目標 9)
 - 若者が主体となり、沖縄の平和活動や環境保全活動を世界に広める SNS キャンペーンを展開します。具体的には、「#OkinawaPeace」といったハッシュタグを用いて、国際的に発信力を高めます。
2. デジタルツールを活用した教育の革新
 - メタバースや AI を活用し、若者が沖縄戦の歴史や平和構築の重要性を学べる仮想空間を構築します。これにより、若者が自発的に学び、発信する力を育成します。

結論

沖縄の若者は、地域の歴史的課題を克服し、SDGsを達成する上で重要な役割を果たしています。彼らのエネルギーと創造性を政策や国際社会との連携に活かすことで、沖縄は「平和と持続可能性のモデル」としての地位を確立することができます。若者が主導する平和構築と地域発展の取り組みは、沖縄の未来にとって不可欠な基盤となるでしょう。また、若者の声を尊重し、それを政策や社会運動に結びつけることは、地域全体のエンパワーメントを促進する鍵となります。